

利用成果報告書

1 課題番号 R5-E36

2 報告者 星 治 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 軸構成分子を中心とした染色体の高次構造解析

5 使用装置名 原子間力顕微鏡

6 利用期間 令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月 31日

7 利用成果・実績の概要 染色体形成過程において、2価の陽イオン濃度をキレート剤により変化させた染色体を作製し、原子間力顕微鏡により微細構造を解析したところ、凝縮の程度の変化が認められた。さらに、凝縮の変化が染色分体の部位によって異なっていることも明らかになった。

8 社会・経済への波及効果 原子間力顕微鏡の医生物学領域における有用性を示した。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
マグネシウムイオンと染色体の凝縮との関係について、ポスター	星 治	第129回日本解剖学会総会・全国学術集会	R6.3.22	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し